

平成 22 年 1 月 吉日

研究会会員各位

財務会計ネットワーク研究会 事務局
水道 啓

第 26 回財務会計ネットワーク研究会勉強会・交流会のご案内

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も本研究会の活動が、会員の皆様、そしてお客様である顧問先中小企業に一層お役立ちできるとものとなるよう、事務局運営を行なって参る所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

新年ですので、明るい話題をご提供したいところではありますが、地域経済は「二番底」が懸念される状況です。そこで、第 1 部では、民主党政権による補正予算が制度融資に与える影響を取上げると同時に、事業再生や経営改善局面におけるキャッシュポジション改善に役立つ「中古機械買取システム」をご紹介します。

また「中小企業金融円滑化法」の成立により、業績悪化企業も、返済猶予による財務的支援を受け易い環境が整いました。しかし、本当に重要なのは、その猶予期間内に営業キャッシュフローを生むための事業改善支援に、会計人がどれだけ貢献できるかです。そこで第 2 部では、同業種間でも業績格差が生まれる要因分析を通じた経営改善支援の着目ポイントを取上げることとしました。

繁忙期に入り、ご多忙とは思いますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

財務会計ネットワーク研究会 第 26 回勉強会 開催概要

1. 日時 平成 22 年 1 月 26 日 (火曜日) 13:30～15:30
2. 場所 東京国際フォーラム G505 会議室
3. スケジュール (13:00 受付開始)
第 1 部 13:30～14:10 融資最新情報について ～ 予想される補正予算の内容とは ～
日本政策金融公庫 国民生活事業本部 企業融資部 戸崎 泰史様
第 2 部 14:10～14:25 今注目の『動産処分サービス』について
～ 決算対策、事業再生に使える中古機械買取システムとは ～
昭和リース株式会社 リマーケティング営業部グループリーダー 戸賀 竜郎様
(休憩：名刺交換タイム 10分)
第 3 部 14:35～15:30 同じ業種なのに、なぜ業績格差が生じるのか？
～ 会計人による経営改善支援の着目ポイント ～
財務会計ネットワーク研究会 代表・税理士 玉木 祥夫
以上

